

事業の名称（提案種別 <input type="checkbox"/> 市民提案型 <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型） あいサポート3周年イベント～知ろう！学ぼう！当事者から～	
団体名 社会福祉法人富士見市社会福祉協議会	担当課名 障がい福祉課
事業の目的	全国の自治体（市区町村）で初めて、鳥取県と推進協定を結んで3年目を迎えることと、障害者差別解消法施行後1年経過を経て、多くの市民に障害当事者との交流を通じ、障がいを持つ人も同じ人権を有する市民であることを再確認してもらおうと共に、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現の第1歩となる事を目的とする。
役割分担	【団体】 ①企画・運営 ②周知・啓発資料作成 ③広報（市内小中学校・公共機関・民児協） ④講師（介助者含む）依頼・打合せ ⑤あいサポート研修開催 ⑥会場確保（備品含む） 【担当課】 ①企画・運営 ②広報（市広報・ホームページ） ③市内事業所への協力依頼等 ④駐車場確保
事業の決算額	88,000 円（市補助金 88,000 円）

1 協働事業の実施内容について

実施日時：平成29年12月16日（土）11：00～16：15

会 場：鶴瀬公民館（鶴瀬コミュニティセンター）

- ・大澤光子氏（盲ろう者）による講演会「盲ろう者の日常、障がいについて」の開催。
- ・ろうの重複障がい児をとりまく人々を描いた作品「どんぐりの家」上映（DVD）。
- ・市内の障がい者（児）施設の協力により、事業所PR資料や利用者製作作品の展示、物品販売。
- ・あいサポーター研修の開催。

<活動実績>

実施日	内 容
7月20日	打合せ：概要、開催までの予定、市内事業所への協力依頼等
9月 5日	打合せ：講演内容、事業所出店内容、広報等について
10月 5日	事業所との打合せ：概要説明、出店・展示内容、開催までの予定について 打合せ：役割分担、前日準備について
10月27日	民児協役員会へチラシ配布依頼
11月上旬～	チラシ（ポスター）を市内公共施設及び市内小中学校へ配布
11月 8日	打合せ：役割分担について
11月10日	事業所との打合せ：前日準備・当日について 打合せ：役割分担、前日準備・当日について
11月14日	会場打合せ：鶴瀬公民館担当との打合せ
12月13日	打合せ：最終確認
12月15日	前日準備：買い出し、会場準備等

実施日	内 容
12月16日	事業開催日 参加者数 250名（講演会他来場者含む）

2 協働事業の実施した結果について

- ・障がい当事者である大澤光子氏の講演から、普段接することのない盲ろう者の日常や障がいについて知ることができた。
- ・市内事業所のPR展示や利用者自らが製作・販売等を通じ交流することで、市内に様々な障害を抱えた方が暮らしていることを知るきっかけとなった。

3 団体、担当課の評価等 評価：◎よくできた ○できた △課題である

協働事業の 評価の視点	団体		担当課	
	評価	コメント	評価	コメント
協働事業を行うにあたり、互いの情報等を共有できたか。	○	打合せを密に行い、業務でも日頃関係のある担当課と連絡を取り合い進める事ができた。	◎	連絡を取り合い進める事ができた。
協働事業の目的を共有できたか。	◎	共有できた。	◎	共有できた。
協働事業の役割分担は適正だったか。	◎	準備から当日運営において、担当課との役割分担は適性であった。	○	協定書で役割を明確にしてあったが、徹底できず、団体が運営や人員など事業実施をもっと主体的に進められると良かった。
互いを尊重し、対等な立場で協働事業を実施できたか。	◎	実施できた。	◎	実施できた。
協働したことにより、他の地域や市民へ広がりがみられたか。	◎	市HP、広報、掲示板により市民へ広く周知できた。	○	広く市民に知ってほしいものだったが、関係者が多く周知方法に工夫が必要である。

【団体の感想等】

- ・同日（午前中）開催の富士見市社会福祉大会や本講演会が地区社協福祉研修、ボランティアスクールとして位置づけされていた為、より多くの来場者に恵まれた。
- ・市内の7事業所の協力が得られ、PR・作品展示や物品販売を実施できたが、会場、設備上、事業所利用者が参加できない事業所もあり、職員のみ参加していただいたが、広く障がいのことを知っていただく機会だった為、会場の選定も考慮する必要があった。

【担当課の感想等】

- ・企画はとても興味を惹くもので、滅多に聞くことができない貴重な講話があり、市民の方にもとても有益であった為、今後も同様のイベントがあると良いと感じました。
- ・バリアフリーなど会場への配慮が必要と感じました。また、福祉大会が無かった場合を想定すると、関係者以外の市民の方の参加を促す工夫が必要だと感じました。

活動の様子

＜大澤光子氏講演会＞



<事業所の販売風景>



様式第7号（第8条関係）

収 支 決 算 書

採択協働事業の名称 あいサポート3周年イベント～知ろう！学ぼう！当事者から～

1 収入の部

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
事業費	88,000	88,000	市補助金
合 計	88,000	88,000	

2 支出の部

(単位 円)

科 目	予算額		決算額		摘 要
		うち補助対象 額		うち補助対象 額	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
報償費	40,000	40,000	40,000	40,000	謝金(講師、介助者)
役務費	12,000	12,000	5,600	5,600	保険料
印刷製本費	0	0	8,759	8,759	チラシ印刷代
消耗品費	30,600	30,600	24,251	24,251	救急薬品他
食糧費	5,400	5,400	9,390	9,390	茶他
合 計	88,000	88,000	88,000	88,000	

あいサポート3周年イベント

～知ろう！学ぼう！当事者から～

12月16日 土

鶴瀬コミュニティセンター
(鶴瀬公民館)



◆講演◆

13:00～14:15

「盲ろう者の日常、障がいについて」

※手話通訳(盲ろう通訳)・要約筆記あり



■講師プロフィール

大澤光子 (おおさわてるこ)

生まれながらのろう者で、40歳の頃黄斑色素変性症により視力を失い、ヘレン・ケラーと同じ全ろう全盲の重複障がい者である。現在は毛呂山町にある「ふれあいの里・どんぐり」にてパン作りなどをしながら生活している。

◆DVD上映◆

どんぐりの家

14:30～16:20

ろうの重複障がい児をとりまく人々を描いた作品



◆あいサポーター研修◆

14:30～15:30

あいサポート運動を知ろう
障がいについて知ろう

◆物品販売・展示◆ 11:00～15:00

市内事業所による販売・展示
(販売)野菜・パン・花・小物・せんべい等



富士見市・三芳町が全国の市町村で初めて鳥取県と協定を結んでから3周年を迎えました！

富士見市協賛マスコットキャラクターうさみん

お問い合わせ

協力：多機能型事業所え～る/ゆいの里/富士見ゆうきのいえ/
入間東部むさしの作業所/サポートハウスみんなのて/
FLOWERS/富士見市障がい者相談支援センター

共催：富士見市/富士見市社会福祉協議会

富士見市社会福祉協議会
〒354-0021 富士見市鶴馬1932-7
TEL:049-254-0747
FAX:049-255-4374
E-mail:kyoudou@fujimi-shakyo.or.jp